

令和6年度 学校だより



# 丘の学び舎

所沢市立上新井小学校  
1月号  
児童数 769名  
校長 伊藤 公雄

〈あけましておめでとうございます〉

今年も、職員室前のベランダから撮影してみました。3年連続、元旦は快晴となりました。昨年、一昨年と比べても、寒すぎない気温で、初日の出の光から元気をもらいました。



## ■体力向上を目指し、運動の生活化を

体育では、県の研究指定をうけた2年間と、小学校体育連盟の委嘱を受けた授業研究会の計3年間の研究の成果を継承することをテーマに、今年度の授業づくりをしてきました。

逆上がり教室では、多くの児童が参加し、「できた」と喜ぶ児童が増えました。また、「どうすればできるようになるのか」を考え、補助や声かけを工夫する児童も多く、鉄棒ブームにもつながっています。

逆上がりの調査は、県の指標を超えています。授業だけではなく、休み時間にも続けて取り組めるといいですね。

また、縄跳び台が増えたことで、縄跳びをする児童も行列を作っています。「運動の生活化」に向け、働きかけていく大切さを感じています。

一方、新体力テストの結果を分析すると、課題も見えてきます。5段階評価のうち(A+B+C)の合計割合は、コロナ禍を経た3年間8割を超えています。しかしながら、種目別では「反復運動」「ボール投げ」に課題が見られました。本校独自の「上っ子体操」で重点としている種目でもあるにも関わらず、この結果となりました。

鉄棒運動と関連する「握力」では、全ての学年が、県平均を上回っていることをヒントにすると、やはり、授業と連動した『運動の生活化』が解決につながると考えています。



東門のイチョウの葉が落ちる前に。

## ■ヘルメット着用（再掲）

再々掲となるのでしょうか。繰り返しのお願いです。

昨年度と比べ、着用率は8ポイント上昇し、79.9%となりました。低中学年では9割超の学級もありますが、高学年になると低下傾向となり、6年生では、49.4%となってしまいます。つまり、自転車に乗っている半分以上の児童が着用しておらず、頭部の安全性が確保されていない状況ということがわかりました。

学校でも指導していきますので、ご家庭でも声かけをお願いします。

## ■tetoru アプリと小学校ほっとメール

tetoru アプリの導入により、学年だより等のカラー化が進み、わかりやすくなったのではないのでしょうか。白黒写真の印刷でも喜ばれた時代とは大きく異なります。本校では、学年主任が tetoru 配信できるので、学年の連絡も使いやすくなっています。

また、小学校ほっとメールも併用しています。これは、地域の方も登録でき、緊急メールと呼ばれていることから、従前と変わらず重要であると考えています。

学校だよりの更新時には、メールの配信テストも兼ねていますので、もしもメールが届かない場合は、再登録等が必要です。申し出てください。tetoru アプリと同様に、保護者のメール登録も100%にしたいです。

※[学校ブログ R6](#) をご覧ください。